

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年十二月度 入選句（投稿総数三千九十三句・一般投句数五百三句）

選者 大堀 武直

特選

初鴨の旅を終へたる眠りかな

大垣市

日比野 友子

初鴨は晩秋に北方から群をなして渡つて来る鴨の先駆けとして、数羽が飛来するもの。何か役目があるのだろうか。それを果して着水した。

鳥好きはいまかいまかと待っていた。ゆつくり休んで欲しい。やさしい気持が表現されている。

柿食みて三成のこと子規のこと

養老郡養老町

田中 紫香

三成は処刑の前、柿を勧められたが腹を壊すといけないと断つた。皆は笑つた。三成は武士たるもの最後まで望みは捨てないと言つた。

子規は柿が大好き。三千の俳句を閲し柿二つ・柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺 などの句がある。

作者は柿を食べながら、いろいろなエピソードを思い浮かべている。

炭はせて古瀬戸の話など少し

岐阜市

島 めぐみ

古瀬戸は尾張の瀬戸地方で、鎌倉室町時代に焼かれた陶器。黄褐色や黄緑色の釉（うわすぐり）でおおっている。仏花器・香炉・茶碗・日常雑器などがある。
作者の居場所は、茶室であろうか。炭火が赤々と熾っている。ゆつたりとした時間が流れている。

秀逸

佳き人に集ふよき人冬董

愛知県名古屋市

舘野 茂子

繕ひの糸を齒で切る十二月

大垣市

秋山 くに子

いざよふて冬蝶低き日をまとふ

大垣市

野村 多佳子

浅漬の一夜に染まる紅の色

大垣市

樋口 絹子

天守には天守の風よ小六月

大垣市

伊藤 明美

住職の咳で始まる報恩講

大垣市

小林 千代

石蓐の花やさしき言葉返す人

大垣市

鶴田 信子

谷川に耳を奪われ長き夜

不破郡垂井町

高木 巧み

残照の光まばゆき浮寝鳥

三重県四日市市

後藤 允孝

鉄棒にぶら下がり見る冬星座

栃木県那須塩原

久保田 山蛾

入選

句碑の肩紅葉かつ散るむすびの地
鉛筆の芯丸くなる年の暮
冬ざれや止まりしまゝの古時計
冬 鴉 鉄 塔 伝 ぶ 爪 の 音
年ごとに似て来る姉妹石露の黄
蔵元の護符飴色に十二月
時雨去る一筆描きの虹遺し
乗り捨ての自転車照らす冬の月
手になじむ志野の湯吞よ置炬燵
山登る津波のごとき朝の霧

三重県津市 羽多野 和子
瑞穂市 伊藤 恵水
岐阜市 宮西 美代子
愛知県額田郡 平松 京師
不破郡垂井町 児玉 信子
大垣市 森川 きよ子
大垣市 仁村 光生
京都府宇治市 八田 弥須子
安八郡神戸町 高橋 泰
大垣市 松岡 みつ

入選

聖菓切る都会の子らも岐阜弁で
宅配の肌着と冬至南瓜来る
としの瀬やきざむ形見の腕時計
蓮の骨折れるて己が影を刺す
みかん剥くネールアートの白き指
鷹渡る絶巔越えて点となる
しぐるるや傘をさす人ささぬ人
信号の青透きとほる秋の暮
冬耕や父の手垢の鍬担ぎ
世捨て人のシルエットあり冬紅葉

不破郡垂井町 中嶋 笑子
大垣市 伊藤 有紀
大垣市 岩田 唯志
岐阜市 堀江 美州
大垣市 新町 恵子
大垣市 島岡 嘉明
兵庫県神戸市 紫 桔梗
静岡県藤枝市 山本 紫苑
千葉県千葉市 箕輪 恵一
愛知県岩倉市 石川 うしゆ

選者吟

我輩も猫になりたし漱石忌

武直